授業科目名： バレーボール	教員の免許状取得のための の 必修科目	単位数： １単位	担当教員名：渋谷　聡 山田　美絵子 竹川　智樹 担当形態：オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 体育実技		

「学位授与の方針」との関係
A から F の項目すべてに該当する。

授業のテーマ及び到達目標
（１）バレーボールに必要な基礎技術（パス、スパイク、サーブ）を、ICT などを用いて修得する。
（２）バレーボールで「主体的、対話的で深い学び」を修得する。
（３）バレーボールの動きを分解して、つまずきからの手立てを修得する。

授業の概要
　バレーボールは、ネットを挟んで集団で行うネット型スポーツであり、チーム内でのコミュニケーションが勝敗に関わることから、中学校や高等学校の体育授業として行われている。しかし、ボールが当たって腕が痛いことや、上手くボールを上げることができない、タイミングよくスパイクを打つことができないなどの理由から、バレーボールの楽しさを十分に味わうことができない生徒もいる。
　本授業では、バレーボールのパス、スパイク、サーブの基本動作を身に付けさせるとともに、何がうまくできないか、どうすればうまくいくかを、ICT やグループディスカッションを実施することによって、学生個人あるいはグループで「気づき、理解する」ことを促す。合わせて、これらが主体的で対話的な深い学びにつながり、「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなライフスタイルを実現する」ことを理解させる。

授業計画
第１回：バレーボールの魅力や特性を理解する
第２回：パスの基礎技術（１）オーバーハンドパス技術を身につける
第３回：パスの基礎技術（２）アンダーハンドパス技術を身につける
第４回：パスの基礎技術（３）フォーム改善点の確認(ICT の活用、グループディスカッションの実施)
第５回：スパイクの基礎技術（１）スパイク技術を身につける
第６回：スパイクの基礎技術（２）フォーム改善点の確認(ICT 活用、グループディスカッション実施)
第７回：サーブの基礎技術（１）サーブ技術を身につける
第８回：サーブの基礎技術（２）フォーム改善点の確認(ICT の活用、グループディスカッション実施)

第９回：戦術（１）フォーメーションを理解する
第１０回：戦術（２）レセプションからの攻撃を身につける
第１１回：戦術（３）実戦での三段攻撃を身につける
第１２回：実践演習（１）実戦でのコミュニケーション（声かけなど）を身につける
（グループディスカッションの実施）
第１３回：実戦演習（２）実戦でのルールおよび審判法、指導法を身につける
第１４回：実戦演習（３）チーム別課題練習（ICT の活用、グループディスカッションの実施）
第１５回：授業のまとめ
定期試験（実技テスト）

スクーリングでの学修内容
・グーグルクラスルームスクーリング：動画視聴等による課題に取り組み、ICT を活用して課題を提出する。
・会場（対面）スクーリング：バレーボールを通して、技術向上や指導に必要な学び（主体的、対話的で深い学び）をグループディスカッションなどで横断的に学んでいく。
（主に、第１回～第１５回の内容を含む。）

教科書
・蔦宗　浩ニ「みるみる上達！　バレーボール　基礎からマスター」学研出版、2015 年

参考文献
・気になる子の体育つまずき解決 BOOK 授業で生かせる実践 52（阿部利彦編著、学研教育みらい、2015 年）
・気になる子も一緒に体育で始める学級づくり　ソーシャルスキルのつまずきを学級経営に生かす応援プラン 109（阿部利彦編著、学研教育みらい、2017 年）
その他、必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価
スクーリング評価（２０％）、実技テスト（８０％）の割合で総合して評価する。